

家庭科における学習困難点

金 田 ト シ 子

中 学 校 の 部

ま え が き

技術・家庭科における学習の目標は、生活に必要な基礎的技術を習得させ、創造し生産する喜びを味わわせ、近代技術に関する理解を与え、生活に処する基本的な態度を養うにある。これらの能力は全体的なもので、特に生活に必要な基礎的技術についての学習経験を通じて、実践的な態度を養うことが大切である。

今回困難点を設定したこの試みは、新指導要領により各学年の内容と対照し又検討を加え、指導経験から抽出し仮定したものである。学習指導の過程において、多くの生徒にむつきさを感じさせていると思われるおもなものをえらび、下の表で考察を試みた。なおこれら困難点の共通な原因をさぐってみると次のようになる。

I 生徒個人の学習に対する自信のそ失や興味・意欲の減退

- 1 ぶきようで上手に出来ない
- 2 他の生徒のように早く出来ない
- 3 家庭科の学習に対する意欲が低い
- 4 出来上がったものに対して自信をもたない

II 実践的態度・活用する態度の欠如

- 1 計画性をもたない
- 2 完成するまで仕事に没頭する根気がない
- 3 工夫をしようとししない
- 4 出来上りの結果を考えようとししない
- 5 出来上がったものの良い所、悪い所がわからない
- 6 他の学科にくらべて、努力がたりない

区 分	事 項	困 難 点 の 内 容	考 察
1 年			
(1)ア	献立	正しい献立がたてられない	イ. 毎日の食品の組合せがうまく出来ない。 ロ. 栄養所要量の計算ができない。 ハ. 計画的に毎日の献立をつくらうとししない。 ニ. 食品群別の摂取量のめやすがつかめない。
(1)イ	食品	調理材料のえらび方がわからない	イ. 調理に適した材料の選択がむづかしい。 ロ. 調味料などの選択が出来ない。
(1)ウ	調理器具	調理用具, 食器の扱い方がむづかしい	イ. 調理に適した必要な用具, 食器の材質やとり扱い方がうまく出来ない。 ロ. 各器具別の手入れの仕方を比較して考えようとししない。 ハ. 正しく保管することをめんどろがる。
(1)オ	調理法	調理の仕方がわからない	イ. 計量の際の工夫が足りない。 ロ. 切り方がうまく出来ない。 ハ. ゆで方, 煮方などの加減がよくわからない。 ニ. 調味の仕方がむづかしい。
(2)エ(ア)	ブラウス	1. スタイルがうまくえらべない 2. 布の地質, 色, 柄のえらび方	1 イ. えりぐりと顔の型とがうまくあわない。 ロ. 自分に合ったスタイルが決められない。 ハ. 布とスタイルの関係がわからない。 2 イ. 自分に似合う色や柄がよくわからない。 ロ. 配色のよさがわからない。 ハ. 着用した時の感じがよくわからない。 ニ. 出来上がった時の着そう効果を考えない。 ホ. 平常着にふさわしい布地を選ぶことが困難である。

一 般 研 究

		<p>3. 型紙がうまくえらべない</p> <p>4. 布の見積り方、裁断の方法がわからない</p> <p>5. 仮縫と補正の方法がむづかしい</p> <p>6. 本縫いが上手に出来ない</p>	<p>3 イ. 採寸が技術的に正確にできない。 ロ. 型紙の過不足の修正がよくわからない。</p> <p>4 イ. 布のたて、よこがよくわからない。 ロ. 型紙をうまく組合わせられない。 ハ. 裁断の時の注意力がたりない。 ニ. 布の見積り方がよく理解出来ない。</p> <p>5 イ. えりぐりよりそでつけに向って斜のつよいしわの出来た場合などの補正がわからない。 ロ. 肩押骨が出ていて肩が下がっている時の直し方がわからない。</p> <p>6 イ. 真直ぐに縫えない。 ロ. そでつけが上手に出来ない。 ハ. えりつけのゆるみがよくわからない。 ニ. ボタン穴と糸の関係、ボタンと穴の関係がよくわからない。 ホ. まつる時の糸のつり合いがうまく出来ない。</p>
(2)エ(イ)	洗たく	<p>1. 正しい洗たくの方法がわからない</p>	<p>1 イ. 予洗の目的がよくつかめない。 ロ. 本洗いでは溶液の温度、洗剤の分量、布地との関係を考えない。 ハ. 家庭で子供にさせない場合には実際面でのよし悪しがわからない。</p>
(2)エ(ウ)	基礎編	<p>2. しみぬきの方法がむづかしい</p> <p>ゲージの決め方がむづかしい</p>	<p>2 イ. 日常つき易いしみについて、何によってついたのか考えてみようとしなない。 ロ. とり方の技法がむづかしい。(とり方がまずいとかえってしみを大きくする)</p>
(4)ア	裁縫ミシン	<p>1. 糸と針の関係がよくわからない</p> <p>2. ボビンとボビンケースの扱い方を間違える</p> <p>3. 糸の調子がうまく合わない</p> <p>4. 故障の箇所がよくわからない</p>	<p>1 イ. 針の太さと、糸の太さがうまく合わない。</p> <p>2 イ. ボビンに糸が正しくまけない。 ロ. ボビンの中央の穴をかまの心棒にはめ込む取り付け方が不正確になる。</p> <p>3 イ. 上糸と下糸の調子が完全に合わせられない。 ロ. 上糸と下糸と別の太さの糸を使っていることが多い。</p> <p>4 イ. ねじがゆるんでいる時、どこのねじがよくわからない。 ロ. ボビンがケースの中でよくまわらない時の発見が出来ない。 ハ. 布と糸の釣合いの悪い時がわからない。</p>
2 年			
(1)ア	献立	正しい献立が出来ない	<p>イ. 献立の必要性をよく理解しない。 ロ. 家族の栄養、労作別による食品群の摂取量の計算が出来ない。 ハ. 家族の献立表の作成がよく出来ない。(朝昼夕に配分することをしない) ニ. 正しい食事計画が出来ない。</p>

家庭科における学習困難点

(1)ア	熱源	調理用熱源が上手に利用できない	ホ. 食事が家庭の和楽に及ぼす影響を理解し、実践しようとしなない。 ヘ. 各自がとっている食事の反省をしなない。 ト. 経済的、能率的な見方が欠如している。 イ. 点火、火力の調節、消火、余熱の利用などを科学的に理解しようとしなない。 ロ. いろいろの熱源についての比較研究をし、それぞれの特性に従った工夫を試みない。
(1)エ	台所	台所の施設、設備の工夫が足りない	イ. 家事労働の能率化を考えない。 ロ. 台所の作業能率の関係をよく理解しなない。(流し、調理台、コンロ台の高さの配置) ハ. 新しい台所用具などについて工夫しなない。
(2)イ(ケ)	ひとえ女長着	1. 基本寸法がわからない 2. 地直しの仕方がわからない 3. 裁ち方、積り方がわからない 4. 柄合わせが出来ない 5. しるしのつけ方がわからない 6. 縫い方が上手に出来ない	1 イ. 長着の形態、構成部分の理解がむづかしい。 ロ. 着物についての概念がまとまらない。 ハ. 各部分の名称がわからず混乱してしまう。 2 イ. どんな繊維で出来ているかを区別し、それに合った地直しをすることをおこたる。 ロ. 布地による地直しの方法がよく理解出来ない。 3 イ. 裁ち方図を見ただけでは出来上がった時のどの部分にゆくのかよくわからない。 ロ. 積り方がよく理解出来ない。 4 イ. 柄の配置に意をそそごうとしなない。 ロ. 出来上がった時どこに柄が出るのかよく理解出来ないままで作業を進めてしまう。 ハ. 体格と顔の輪郭による柄、線の美しさがわからず、個性的なものを考えようとしなない。 5 イ. 正確につけられない。 ロ. 通しべらをし易い。 6 イ. 真直ぐに縫えない。 ロ. 運針がきれいに出来ない。 ハ. 大切な部分の仕末を怠たる。 ニ. 洋裁と混同し易い。 ホ. 糸と針、布の関係がうまくつかめない。
(2)イ(イ)	ししゅう	ししゅうの技法がむづかしい	イ. いろいろな方法を比較しながら理解しようとしなない。 ロ. 効果的な使いみちを考えない。 ハ. 配色がむづかしい。
3 年			
(1)ア	献立	正しい献立が立てられない	イ. 幼児、老人、病人などの栄養、消化、好みなどの特異性をよく理解出来ない。 ロ. 行事食がうまく出来ない。 ハ. それぞれの目的に応じて献立を変化させ作成する工夫がたりない。
(1)オ	食生活	食物と生活についてよく理解出来ない	イ. 行事食、客ぜん調理などの内容や食事形式が繁雑にのみ感じられ興味をおこさない。 ロ. 栄養、家庭経済、生活の能率化などを考えて合理的に食生活を改善する努力がたりない。 ハ. 実際の食事を通じての食事作法がなかなか覚えられない。

(2)ウ(ク)	ワンピース	<p>1. デザインがうまく出来ない</p> <p>2. 色と柄がうまくえられない</p> <p>3. スタイルを変えることが出来ない</p> <p>4. 着そうについてよくわからない</p>	<p>ニ. 家庭の中心人物に合わせた食生活をしているので、なかなかその形式を変えようとしめない。</p> <p>1 イ. 自分の個性やスタイルにふさわしいデザインがよくわからない。 ロ. 線の美しさの理解がむつかしい。 ハ. 人の視覚は錯覚を起すことを考えない。(デザインは人の錯覚をたくみに生かしたのもであることを学ばせる) ニ. いろいろなデザインの比較研究をしない。 ホ. 自分の短所、長所の自覚がたりない。</p> <p>2 イ. 色の使い方がよくわからない。 ロ. 皮膚に合った色、季節に合った色をよく理解しない。 ハ. 特に縞の太い細いの使い方がよくわからない。</p> <p>3 イ. 型紙から自分に合った形に直すことが出来ず、画一的なスタイルになってしまう。</p> <p>4 イ. 着用しても相互に反省し合わない。 ロ. 作品のよいところ、悪いところを判断する基準がわからない。 ハ. デザインをいたづらに複雑にしたがる。</p>
(3)ア	幼児	上手な子供の育て方がわからない	<p>イ. 幼児の取り扱い方、躰け方、遊ばせ方などについて実践的に理解しようとしめない。</p> <p>ロ. 身体の健康の外に心の問題があることを忘れがちである。</p> <p>ハ. おもちゃのよし悪しを判定する基準がわからない。</p> <p>ニ. 幼児の体についての知識が不足している。</p>
(3)ア	間食	正しい間食のあたえ方がわからない	<p>イ. 間食の補助食としての意味、その材料、分量、調理法がよく理解出来ない。</p>
(3)ア	幼児服	衛生的な幼児服がわからない	<p>イ. かわいらしさだけを考え、活動面の工夫をしない。</p> <p>ロ. 洗たくについて考えない。(色、染色、布地、デザイン)</p>
(3)イ	家庭生活	保育と家庭生活についてよく理解出来ない	<p>イ. 家庭での保育の重要性をよく理解出来ない。</p> <p>ロ. 進んで弟妹の世話をする実践的態度の缺如。</p>

高等学校の部 (一般)

まえがき

家庭一般における学習の目標は、家庭生活全領域にわたり、知識を深め、食物、被服、住居ならびに保育などの基礎的技術を総合的に習得させ、家庭生活の改善向上を図る実践的態度を養うにある。

今回困難点を抽出したこの試みは、新指導要領に基づいて、学習内容と対照し又検討を加えて、指導経験から想定したものである。次の表に示すのは、学習指導の過程で過半数の生徒にむつかしさを感じさせていると思われるものをこのようにして選び、考察を試みたものである。なおこれら困難点の共通な原因をさぐってみると次のようになる。

1. 技術的学習を通しての面では、生徒の知的技術的個人差が大きく指導がむつかしい。
2. 食生活、住生活は各家庭でそれぞれ異なり、家庭生活の改善向上を図る実践的態度を養うことはむつかしく、又生徒自身も興味がなく、家庭科に対する意欲減退の原因となって現われている。
3. 家庭生活に対する計画性、工夫がとぼしく、実際に活用する態度の欠除の原因となって現われている。

庭家科における学習困難点

区分	事項	困難点の内容	考察
(1)イ	家庭生活の機能	1. 家庭生活における家庭経営がよく理解出来ない 2. 経済循環における家庭生活の価値が実際によくわからない	1 イ. 健全な家庭生活がよく理解出来ない。 ロ. 立派に経営されるための条件がよくわからない。 2 イ. 消費の仕方の生産への方向づけがむつかしい。 ロ. 経済循環の一環としての家庭生活の地位の具体的な理解がむつかしい。 ハ. 労働力提供の場としての立場についてよく理解出来ない。
(2)ア	予算の立て方	予算生活の必要性がよく理解出来ない	イ. 家庭経済はどのように運営されているのか実際的に考えてみようとしなさい。 ロ. 家庭経済を合理的に営むための予算の立て方がわからない。 ハ. 予算通り実行しようとする態度に欠けている。
(2)アウ	家計簿記の記入	家計簿記の記入の仕方を会得するのがむつかしい	イ. 記入もれや誤記が多い。 ロ. 発生順に簡易迅速に記入する習慣ができにくい。 ハ. 摘要欄に収支の事由を詳細に記入するのを怠る。
(3)イイ	家庭生活の科学化	家庭生活の科学化による能率の向上について認識がたりない	イ. 衣, 食, 住, その他の能率的な生活の仕方というものが実感できない。 ロ. 非能率的に生活している面をさがしたそうとしなさい。 ハ. 家庭生活を科学的に見なおし, 反省しようとする態度がたりず, 習慣を変えようとしなさい。
(4)アア	食品の栄養的分類とその基準量	日常の食生活のカロリーについての理解が不足している	イ. 各食品の栄養素の含有量から, カロリー計算をすることができない。 ロ. 食品群が自由に使いこなせない。 ハ. 食品を栄養的に分類し, どの位食べれば健康が維持出来るか, ということが実際によくわからない。
(4)イア	献立について	日常食の献立を立てる必要性がよくわからない	イ. 家族の栄養摂取量に基づいた献立の工夫がむつかしい。 ロ. 常備食品の使い方がよくわからない。 ハ. 地域の加工食品についての理解がむつかしい。
(4)オキ	焼き物	焼き物の熱源の温度及びその温度の利用の仕方がむつかしい	イ. 熱源と焼き物材料との距離の調節がよくわからない。 ロ. 通風口の調節をおこたりがちである。
(4)オク	揚げ物	揚げ物の火加減がむつかしい	イ. 油の状態がよくわからない。 ロ. 油の温度がわかりにくい。 ハ. 揚げ物のあがり工合がよくわからない。
(5)イア	被服生活の改善	1. 形式の単純化についての理解がむつかしい 2. 既製服の利用の仕方がよくわからない	1 イ. 二重生活はなぜ改めなければならないか, 実際に和, 洋服の比較がむつかしい。 ロ. 改善の方法, 今後の衣生活のありかたについての理解が困難である。 2 イ. 調整と能率, 経済の検討などよく理解出来ない。(自家製, 注文製, レディメイド, ハーフメイド等) ロ. 既製服のよし悪しの見分け方がむつかしい。 ハ. 自分に合う型, 色の選択が出来ない。 ニ. 縫製のよしあしがよくわからない。

(6)イ(ア)	間取りに必要な条件	生活様式についての理解がむづかしい	ホ. 布の染色, 繊維の見分け方がむづかしい。 イ. 座式, 椅子式, 折衷式のいずれをとるかによって, 間取りに相違があり, 又年齢, 職業, 趣味についても考えねばならず, これらを総合的に考えていくことが困難である。
(7)イ(ア)	乳幼児の発育とその特徴	新生児の特徴がよくわからない	イ. 早産児についての扱いがよくわからない。 ロ. 生理的特徴についての知識が不足している。 ハ. 実際との比較が困難である。
(7)イ(イ)	乳児の精神発達	精神発達と特徴	イ. 感覚, 運動, 感情及び社会性についての理解がむづかしい。 ロ. 遺伝, 環境についての実際の理解が困難。(家族の言動, 生活態度, 感情生活など)
(7)ウ(ア)	母乳栄養	1. 母乳の与え方がむづかしい 2. 授乳時間, 回数などがよくわからない	1 与える時の環境, 状態に注意を向けようとしなない。 2 イ. 十分授乳出来たか出来なかつたかの状態がわからない。 ロ. 子供の状態により時間, 回数などを適宜変えることを考えない。 ハ. 哺乳量がよくわからない。
(7)ウ(ア)	離乳	離乳の仕方がむづかしい	イ. 食品の組合わせ方が困難。 ロ. 食べさせ方が実際にそぐわない。 ハ. 調理の方法がむづかしい。 ニ. 体重, 気げん, 食慾, 便等の状態による離乳すすめ方がむづかしい。 ホ. 実際となかなか結ぶつけて考えられないので理解が困難。